

作家モノの伝統工芸品の販売における創業支援

みどりや (奈良県)

奈良町の町屋を改修し、作家モノの器・和雑貨の販売

1. 相談のきっかけ

- 相談者は、21年間、京都の老舗の伝統工芸品店で、売り場や仕入れの管理者を経験。奈良町の町屋物件と出会い、開業を決意された。
- 空き家・町屋活用モデル事業に応募しようと奈良市に相談した際、当拠点を紹介された。

2. 課題整理・分析

- 前職(京都)での成功体験をベースにしつつ、店舗のコンセプトづくりを行うこと。(立地面、想定される顧客層での相違も考慮し、ベストマッチする工芸品、その構成など)
- 物件は、奈良町の一等地であり、家賃交渉も事業成立条件として重要であった。
- 事業経営は初めてであり、経営知識等の補充も必要である。

3. 解決策の提案

- 現地でのテスト販売の結果を分析し、客層と、客単価の予想、課題抽出実施を提案した。
- 事業計画策定の重要性を説明し、作成の助言をした。
- 季節、行事等を意識した年間の資金繰り表の作成と、事業計画書を使い、家主との率直な相談実施を提案した。
- 個人事業での創業前後で必要となる経営知識全般習得。



4. 成果

- コンセプトに基づき事業計画書を完成。自己資金で、内装工事を実施した。
- 平成29年7月21日 奈良市中新屋町8(にぎわいの家の傍)に「みどりや」をオープンした。
青磁や鉄釉、結晶釉のものなど、食卓に彩りを添え、日々を豊かにする作家モノの器や和雑貨が並んでいる。



- 海外(アジア、欧米など)からも幅広くお客様が来店した。

*現在、広告宣伝を強化すべく、店内POPの作成と併せて、ホームページづくりを計画中である。